



タガソデソウ



マイヅルソウ
舞鶴草の名は葉脈の曲がった形を翼を広げたツルに見立てたところから



シロバナノヘビイチゴ
葉は3出複葉で小葉の縁に鋸歯
白い花の咲くヘビイチゴの意だが、
食用として栽培されるイチゴの仲間。
イチゴに似てますね。
ちなみにヘビイチゴとはヘビが食べるイチゴらしいですが???



←ハウチワカエデ
もう一つあったカエデ（中澤さんLINE送付）のオニイタヤとイタヤカエデの違いは、イタヤカエデの葉の表は、通常無毛、裏側の脈腋（葉の基部）にのみ毛がかたまっているが、オニイタヤは、全体に短毛が密生しピロード感。大きさだけではないようですが、サンプルはどうでしたか？



葉は白髪刺密被高で、小葉はシラシラある



葉は3出複葉

←キジムシロと話した花は、ミツバツチグリでした。
左の図鑑にあるようにキジムシロの特徴、小葉5~9枚ですが、見たのは3出複葉でしたね。失礼いたしました。
如何に、いい加減な説明であったか反省！！



花は黄色で、直径1.5-2cm



花は黄色で、直径1.5-2cm

キジムシロ

ミツバツチグリ

○ほかに、少し背の高いひよろつとした黄色の花をつけた花が在りましたが、それをダイコンソウと説明しました。葉の付き形状がまだ未熟であったため判断誤りで、ウマノアシガタかミヤマキンポウゲ（確率は低いですが）と思われるが、はっきり判断できません。ガイドするときあやふやなものは、わかりませんということがセオリーでした。
○どんぐりの木ですが、ミズナラでよかったと思います。コナラは、もっと標高が低いところ。違いは、ミズナラのほうが葉も実も大きい。葉柄もミズナラのほうが長い。実を見れば一目瞭然。
○ズミ（こなし・上高地の小梨平は、コナシがたくさん生えていた場所だから）は、異形葉がありますが、エゾノコリンゴにはありません。ちなみに高ボッチでも上高地でも混在です。